

2021 年 1 月 1 日

厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究

アルテプラザー静注療法全国調査への協力の御願い

調査項目：2019, 2020 年（1-12 月）の IV rt-PA, MT の件数

拝啓 先生にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます

日本脳卒中学会は 2020 年に一次脳卒中センター（PSC）の認定を開始しましたが、アルテプラザー静注療法（以下 IV rt-PA）と機械的血栓回収療法（以下 MT）は、急性虚血性脳卒中の患者の転帰を改善することが明らかとなっており、条件が整えば、適応患者に実施することが求められています。私たちは 2018 年から先行研究「脳卒中の急性期診療体制における施設間連携体制構築に関する研究」を行い、国内約 1000 の医療機関で 16000 件の IV rt-PA が行われていることを示しました。この度、2020 年から 3 年間の予定で「脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」を行うことになりました。本研究は日本脳卒中学会の脳卒中急性期施設間連携プロジェクトも兼ねています。この研究では、日本脳卒中学会の一次脳卒中センター認定、新型コロナウイルス感染症の拡がりなどに伴う脳卒中急性期診療体制、施設間連携の変革について実態調査を行い、施設間連携医療を活用する脳卒中診療の有効性や安全性に関する科学的根拠の創出を目指しています。

つきましては前回に引き続き、全国の救急告示病院、脳卒中診療を行っている医療機関、脳神経外科学会・脳卒中学会・日本脳神経血管内治療学会の教育訓練施設などを対象に、2019, 2020 年の IV rt-PA および MT の件数調査を行いますので、何卒宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。本調査は集計データの報告だけです。施設倫理委員会または病院長の承認は不要です。また、医療機関別のデータを公表することはなく、都道府県別、2 次医療圏別等の集計結果の公表を予定しています。また、先行研究では、転送による MT の実施が安全に行われていることを示しました。本調査以外に、以下の調査も行っています。

1. COVID-19 影響調査：PSC を中心に COVID-19 の脳卒中診療に及ぼした影響を調査しています。
2. MT 連携医療調査：MT 実施施設に、直接搬送と転送、遠隔診療などの情報を含む急性虚血性脳卒中に対する機械的血栓回収療法に関する登録研究への協力を御願いしています。

ご多忙のところまことに恐縮ですが、本調査の意義を是非ご理解賜り、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

敬具

厚生労働科学研究費補助金
脳卒中の急性期診療体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究班
主任研究者 坂井信幸（神戸市立医療センター中央市民病院）